

ベルリン・フィルの精鋭&古楽の名手による世界最強のバロック・アンサンブル見参!
いま聴くべき新星ヤン・インモが共演!天から降りそそぐ極上のサウンド。

ベルリン・バロック・ゾリステン

with ヤン・インモ



ベルリン・バロック・ゾリステン
Berliner Barock Solisten

Berliner Barock Solisten with Inmo Yang

2024 **9.27** (金) 19:00開演(18:30開場)

浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階/都営大江戸線「築地市場駅」(A2出口)すぐ

全席指定: ¥15,000 (税込) 一般発売 2024年4月27日[土]10:00~

販売所 朝日ホール・チケットセンター 朝日ホールチケットセンター 検索

03-3267-9990 (日・祝除く10:00~18:00)

<https://www.asahi-hall.jp/hamarikyu/>

イープラス <https://eplus.jp/asahihall/>

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

お問合せ 朝日ホール・チケットセンター
03-3267-9990 (日・祝除く10:00~18:00)



※就学前のお子様はご入場いただけません。託児サービスをご利用くださいませ(要予約)。

【託児サービスのお問合せ・お申込み】 イベント託児・マザーズ:0120-788-222

※都合により公演内容が変更となる場合がございます。

※公演延期・中止の場合を除き、チケット代金の払戻しはおこないませんので予めご了承ください。

主催: 朝日新聞社/浜離宮朝日ホール 特別協賛: 竹中工務店

ヤン・インモ(ヴァイオリン)
Inmo Yang, Violin



J.C.F.バッハ:

弦楽のためのシンフォニア ニ短調

Johann Christoph Friedrich Bach: Sinfonia for Strings in D minor

J.S.バッハ:

《音楽の捧げもの》BWV1079より「6声のリチェルカーレ」

Johann Sebastian Bach: Ricercar a 6 from "Musical Offering" BWV1079

C.P.E.バッハ:

弦楽のためのシンフォニア ヘ長調

Carl Philipp Emanuel Bach: Sinfonia for Strings in F major Wq./H. deest

J.S.バッハ:

ヴァイオリン協奏曲第2番 ホ長調 BWV1042

(ソロ: ヤン・インモ)

Johann Sebastian Bach: Violin Concerto No.2 in E Major, BWV1042 (Soloist: Inmo Yang)

ヴィヴァルディ:

ヴァイオリン協奏曲集《四季》(ソロ: ヤン・インモ)

Antonio Vivaldi: The Four Seasons (Soloist: Inmo Yang)

Berliner Barock Solisten with Inmo Yang

ベルリン・バロック・ゾリステン、温故知新のいまを愉しむ

青澤隆明(音楽評論家)

音楽って、ほんとうにあたたかいものなんだな。ライナー・クスマウルとベルリン・バロック・ゾリステンの演奏会を聴いていると、微笑みが自然に幾度もこぼれてきた。心にくいアンサンブルの喜び、名手どうしの理解と交感には、そのような温度があるのだった。

クスマウルとベルリン・フィルの同志たちがこのバロック・アンサンブルをつくったのは1995年だから、来年には30周年を迎える。クスマウルも亡くなってしまった。ライナー・オルロフスキーは創設メンバーで、今回の顔ぶれで言うラファエル・アルパーマン、町田琴和が古株となろうが、ここ数年で新しい仲間も加わっている。時代は動いているのだ。しかし、音楽する心、アンサンブルの理想はきっと変わらない。合奏の喜びは、あたたかく新鮮なままだろう。

もうひとつ新しい魅力は、韓国生まれの新鋭ヤン・インモが、今回のアジア・ツアーに加わること。2022年にシベリウス・コンクールに優勝した彼は、ベルリンやクロンベルクで研鑽を積んでいて、その意味でもドイツの音楽言語と縁が深い。本ゾリステンとも世代を超えた良いケミストリーが期待される。

レパートリーはいまもむかしもドイツとイタリアのバロックで、来日のたびにくり返し演奏されてきた曲も多いが、名曲はいつ聴いてもいいものだ。バッハ親子の様式の違いも、バッハに大きな影響を与えたヴィヴァルディの名協奏曲との組み合わせもまた興味深いところだろう。

ベルリン・バロック・ゾリステン Berliner Barock Solisten



クヴァストホフ、クリスティアーネ・シェーファー、エマニュエル・パユ、ジャック・ズーン、フランク・ペーター・ツィンマーマン、アンドレアス・シュタイアーなど、世界の一流のソリスト達と共演を重ねているほか、レコーディングにおいても、2005年のグラミー賞を受賞したバッハのコンタータ集やブランデンブルク協奏曲全集(2017年録音)など、評論家から高い評価を受け続けている。2018年には古楽のカリスマ的巨匠、ラインハルト・ゲーベルを芸術監督に迎えている。

1995年にベルリン・フィルの第1コンサートマスターをつとめていたライナー・クスマウルを音楽監督に、ベルリン・フィルの首席奏者達により創設されたベルリン・バロック・ゾリステンは、その名のごとく、メンバー一人一人が華麗なソリストである。同時に、その類まれな合奏精度により、彼らは世界最高のアンサンブルの一つとしての地位を確立し、また、様式的な確かさをもって、いにしへの楽曲を文字通り現代に蘇らせることに成功している。結成以来約四半世紀、ベルリン・バロック・ゾリステンは欧州各国、米国、日本、韓国、台湾等で常に忘れがたい感動を聴衆に与え、確実にファンを増やしてきた。トーマス・

ヤン・インモ(ヴァイオリン) Inmo Yang, Violin

韓国のヴァイオリニスト、ヤン・インモは、2022年ジャン・シベリウス・ヴァイオリン・コンクールの第1位を受賞した。審査委員長のカカリ・オラモは、次のようにコメントしている。「この勝者は圧倒的である。音楽的にもまたヴァイオリニスト的にも、インモの弾きこなしはすこぶる偉大だ。歌と平易さを生み出すバネを変えても決して余計なものがない」。

2015年3月、イタリア・ジェノヴァで開催された第54回パガニーニ国際ヴァイオリン・コンクールで2006年以来初めて第1位を獲得した。当時の審査委員長であったファビオ・ルイーダは、「インモは直感的な音楽家である。彼のパガニーニは魅惑的で絶妙だ」とコメントしている。

ワイル・リサイタル・ホールでカーネギーホール・デビューを果たした後、ボストン・シンフォニーホール、マールポロ音楽祭をはじめ米国各地で演奏活動を行っているほか、ファビオ・ルイーダ、ネーメ・ヤルヴィ、チョン・ミョンファン、オスモ・ヴァンスカなど多くの著名指揮者と共演している。協奏曲では、フランス国立管弦楽団、ルツェルン

交響楽団、チューリッヒ・フィルハーモニー管弦楽団、デンマーク国立交響楽団、リッチモンド交響楽団、ソウル・フィルハーモニー管弦楽団、カルロ・フェリーチェ劇場管弦楽団に出演している。

2021年、彼はドイツ・グラモフォンのセカンド・アルバム【弦楽器の遺伝学】をリリースした。デビュー・アルバム【N.パガニーニの24のカプリース】は、2019年に同レーベルからリリースされた。

ボストンのニューイングランド音楽院でミリアム・フリードに師事し、ベルリン・ハンス・アイスラー音楽大学を経て、現在はクロンベルク・アカデミーでアンティエ・ヴァイトハースのもと、さらなる研鑽を積んでいる。ジャン・シベリウス国際ヴァイオリン・コンクールのために貸与された、トリノのG・B・グァダニーニのヴァイオリンを使用している。



© Neida Navace



浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2
朝日新聞東京本社・新館2階 TEL 03-5541-8710

アクセス

- 「築地市場駅」都営大江戸線(A2出口)すぐ
- 「築地駅」東京メトロ日比谷線(1,2番出口)より徒歩約8分
- 「東銀座駅」東京メトロ日比谷線
都営浅草線(6番出口)より徒歩約8分
- 「汐留駅」都営大江戸線(新橋駅方面改札口)
新交通ゆりかもめ(改札口)より徒歩約10分
- 「新橋駅」JR(汐留口)
東京メトロ銀座線(1,2番出口)
都営浅草線(改札口)より徒歩約15分

浜離宮朝日ホール 公式



(旧Twitter) を開設しました!

主催公演の最新情報を随時発信しますので、ぜひ「フォロー&いいね!」をお願いいたします!

浜離宮朝日ホール @Hamarikyuhall
有楽町朝日ホール @YurakuchoAH